

令和 8 年 1 月 30 日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

農業担い手メールマガジン（第 4 4 4 号）

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

<トピックス>

1. 「地域計画」を今年もブラッシュアップしていきましょう
2. 農地を所有・貸借する法人としての義務をお忘れなく！
3. <参加費無料>第 5 回農業者年金オンラインセミナーを開催します。
4. 「NARO 生育・収量予測ツール(2)イチゴ」の対応品種を 10 品種に拡大で品種特性に応じた生産性向上を実現
5. 果樹の温暖化被害（着色不良・日焼け・晩霜害）を予測するシステムを開発
6. 経営マスターコース「経営戦略」受講者募集中！
7. （みどり戦略技術紹介）白黒ダブル生分解性マルチによるスイートコーン抑制裁培の初期成育改善および省力化
8. 中山間地域での持続可能な農業を企業連携の実例から学んでみませんか！
9. 「第 7 回農業分野における外国人材受入れセミナー」の参加者募集中！

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

【1. 「地域計画」を今年もブラッシュアップしていきましょう】

去年は、地域農業の在り方や農地利用を明確化した「地域計画」の取組にご協力を頂き、ありがとうございました。

これからは計画の実現や、策定された計画のブラッシュアップに向けて話し合いを継続していくことになります。

地域の話合いには、若い方、女性の方、地域外の担い手の方のほか、農業者以外の幅広い関係者にも参加いただき、地域で一体となって話し合っていきましょう。

既に話し合いに参加された方も、まだ参加していない農業者の仲間にもお声がけいただき、引き続きブラッシュアップに取り組んでいきましょう。まだ参加されたことがない方は、これからの協議の場の機会に、ぜひご参加ください。

特に目標地図をベースに話合うことで、気づきや話合いがしやすくなります。

市町村では相談窓口を設置していますので、皆さんも積極的に相談をお願いします。なお、市町村のホームページでも策定された地域計画や話合いの予定などを公表しているので、「地域計画」「協議の場」で検索してください。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

◇ 地域計画の詳細についてはこちら（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/chiiki_keikaku.html

◇ お問い合わせ先

農林水産省経営局農地政策課（担当：地域計画グループ）

TEL：03-6744-2151（直通）

【2. 農地を所有・貸借する法人としての義務をお忘れなく！】

農地所有適格法人をはじめ、農地を所有・貸借する法人は、農地法の規定により、毎事業年度の終了後から3か月以内に、農業委員会へ事業状況等の報告をすることが義務づけられています。

特に、農地所有適格法人が当該報告を怠った場合、30万円以下の過料に処される可能性があります。

事業年度終了後は、農業委員会への当該報告を毎年必ず行うようご注意を！

◇ 農地の権利を持つ法人の報告義務についてはこちら（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hozin_nouchi.html

◇ お問い合わせ先

農林水産省経営局農地政策課（担当：農地調整グループ）

MAIL：hattenkeikaku@maff.go.jp

TEL：03-6744-2153（直通）

【3. ＜参加費無料＞第5回農業者年金オンラインセミナーを開催します。】

独立行政法人農業者年金基金（以下「(独)農業者年金基金」）では、「人生100年時代、人生設計どう考える？」をテーマに第5回農業者年金オンラインセミナーを開催します（事前登録制・参加費無料）。

セカンドライフ、どう過ごしたいですか？ 旅行？ 趣味？

いずれにしてもお金はかかります。当然ながら生活費も必要・・・

そんなとき、ずっともらえる自分だけの年金があったら安心ですね。

今回のセミナーは、「一人一人が農業者年金に加入し、夢と希望あふれる人生設計を描いて欲しい。」と強く願う講師お二人が農業者年金について解説します。農業者の皆様はもちろん、農業委員、最適化推進委員の皆様もぜひご参加ください。

■ 開催日時：令和8年3月5日（木）15：00～16：00

■ 申込締切：令和8年3月4日（水）

◇ 申込フォームはこちら（Google フォーム）

→ <https://forms.gle/oCtHyo3abf89aGSW6>

◇ 詳細はこちら（(独)農業者年金基金 Web）

→ <https://www.nounen.go.jp/nounen/seido/gaiyou/seminar/index.html>

◇ お問い合わせ先

（独）農業者年金基金（担当：企画調整室）

TEL：03-5919-0332

【4.「NARO 生育・収量予測ツール(2)イチゴ」の対応品種を10品種に拡大で品種特性に応じた生産性向上を実現】

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（以下「農研機構」）は、イチゴの収量を品種ごとに予測する API「NARO 生育・収量予測ツール(2)イチゴ」で利用できる品種を拡大し、種子繁殖型品種「よつぼし」、「ベリーポップ はるひ」、四季成り性品種「夏のしずく」、一季成り性品種「恋みのり」、「いばらキッス」、「越後姫」、「かおり野」、「紅ほっぺ」など10品種で利用できるようになりました。これにより、品種ごとの特性に応じた収量予測と栽培改善が実現できるようになりました。

◇ プレスリリースはこちら（農研機構 Web）

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nivfs/172753.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（農研機構 Web）

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【5．果樹の温暖化被害（着色不良・日焼け・晩霜害）を予測するシステムを開発】

近年、果樹では着色不良、日焼け、晩霜害などの温暖化に起因する被害が増えています。そこで、気象データに加え、果樹の種類や発育状況を考慮することで、被害発生を高い精度で予測するシステムを新たに開発しました。このシステムにより、生産現場では被害発生前の対策の必要性を的確に判断できるため、利用者に適時の必要な対策実施を促すとともに、必要以上の対策の回避が可能になります。その結果、温暖化に伴う果樹生産の損害や対策コストの低減が期待できます。

◇ プレスリリースはこちら（農研機構 Web）

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nifts/173098.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（農研機構 Web）

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【6．経営マスターコース「経営戦略」受講者募集中！】

AFJ 日本農業経営大学校（一般社団法人アグリフューチャージャパン運営）は、日本の農業の未来を担う農業者に向けたオンラインスクールを開設しています。

今回ご紹介する講座「経営戦略」は、農業経営に不可欠な戦略的思考を磨く、経営者・幹部層およびその候補者向けのオンライン講座です。

環境分析から成長戦略まで、基礎的なフレームワークに加え、同じ課題を持つ全国の農業者とのディスカッション、そして自社の経営課題発見と講師によるフィードバックなど、基礎から学び、経営で活用できる思考力を身に付ける、全6回の実践型カリキュラムです。

●カリキュラムを更新しました●

第2回講義「経営数値と戦略立案」では、架空の法人「養豚 AFJ 社」を題材に、財務諸表

などの数値データから経営上の課題を読み解き、戦略的な経営判断へとつなげる力を養います。

数字から経営を考える視点は、今回ケースとした畜産に限らず多くの業種で応用できる重要なスキルです。事前学習用の動画もご用意しておりますので、ぜひご活用ください。

■ 経営戦略（オンライン講義）

2026年4月30日（木）～7月29日（水）19:00～（全6回）

○ 受講料：55,000円（税込）

○ 定員：20名（先着順）

○ 申込方法：2026年4月10日（金）17:00までに下記よりお申し込みください。

◇ お申込み・講座の詳細はこちら（（一社）アグリフューチャージャパン「AFJ 日本農業経営大学校」HP）

→ <https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/strategy/>

◇ お問い合わせ先

AFJ 日本農業経営大学校 オンラインスクール事務局

MAIL：application-online@afj.or.jp

TEL：03-5781-3750

【7.（みどり戦略技術紹介） 白黒ダブル生分解性マルチによるスイートコーン抑制栽培の初期成育改善および省力化

「みどり戦略技術紹介」では、毎月、環境負荷の低減に取り組む農業者の皆様に役立つ技術をご紹介します。

今回は、白黒ダブル生分解性マルチによるスイートコーン抑制栽培の初期成育改善および省力化についてです。

スイートコーンの抑制栽培では、高温による初期生育不良や、収穫後のマルチ剥ぎ取り作業が課題となっています。そこで、地温上昇抑制効果のある白黒ダブル生分解性マルチを使用することによって、発芽率や初期生育を改善することで欠株率を低減し、安定した収量が期待できます。生分解性マルチの使用は収穫後の片付け作業時間も大幅に短縮でき、脱プラスチック対策にも貢献します。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版：畑作) (PDF：7,798KB) p.15 白

黒ダブル生分解性マルチによるスイートコーン抑制裁培の初期成育改善および省力化（農林水産省 Web）

→

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/02_midori_catalog5_crop.pdf#page=15

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省大臣官房政策課技術政策室（担当：推進班）

TEL：03-3502-3162（直通）

【8. 中山間地域での持続可能な農業を企業連携の実例から学んでみませんか！】

農林水産省は、中山間地域における持続可能な農業を推進するため「農山漁村」経済・生活環境創生プラットフォーム第3回情報発信会を開催します。

情報発信会では、企業・自治体による中山間地域での企業連携の事例発表（コスメ、生薬、ワイン、ヘーゼルナッツの加工・販売）をはじめ、パネルディスカッションにより、連携に至ったプロセスから成果や課題のポイントを深く掘り下げます。

中山間地域の農業は、人口減少が著しく、農地の維持も難しくなっていますが、企業連携の取組により、持続可能な農業の推進が図られることを期待しています。

ご興味のある方、参加を希望される方は、以下の URL をチェックしてみてください！

■ 日時：2026 年 2 月 20 日（金）13:30～16:30

（16 時から 16 時 30 分までは、会場参加者による交流会）

■ 会場：農林水産省 7 階講堂（東京都千代田区霞が関 1-2-1）

■ 参加費：無料

■ 定員：対面参加 50 名、オンライン参加上限なし

■ 主催：農林水産省（運営事務局：株式会社 Ridilover）

◇ 第3回情報発信会についてはこちら（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyusan/260127.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農村振興局地域振興課（担当：中山間対策班）

TEL：03-3501-8359（直通）

【 9. 「第 7 回 農業分野における外国人材受入れセミナー」の参加者募集中！ 】

外国人材の円滑な受入れに向けて、農業者の皆様、市町村の外国人材担当等を対象として、外国人材の農作業安全の現状や労災発生事例、対応事例等について紹介するセミナーを開催します。

セミナーの概要は以下のとおりとなっておりますので、奮ってご参加ください！

（セミナー概要）

■ 日時

2 月 4 日（水）16：10～17：10 ※ 対面及びオンライン（Zoom）のハイブリッド開催

■ 内容

- ・ 「外国人材に係る農業労災・農作業安全対策の現状と課題」

株式会社農林中金総合研究所 石田 一喜氏

- ・ 「外国人材に係る農業労災発生事例・対応事例」

一般社団法人全国農業改良普及支援協会 齊藤 総幸氏

- ・ 「農作業事故 VR の紹介」

全国共済農業協同組合連合会 市川 道子氏

（申込締切）

2026 年 2 月 3 日（火）17 時まで

◇ セミナーの詳細はこちら（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/keiei/foreigner/index.html#seminar>

◇ お申込みはこちら（農林水産省 Web 申込フォーム）

→ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/fukyu/260126.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産経営局就農・女性課（担当：岩崎、大沼）

TEL：03-6744-2159（直通）

◆◆◆編集後記◆◆◆

二十四節気の最後の暦「大寒」を迎え厳しい寒さが続いていますが、立春にかけても低温

